環境方針

2018年の「環境宣言」から5年が経過し、国内外において持続可能な社会づくりに向けた炭素中立、自然再興、循環経済など新たな目標が示され、またウェルビーイングや地方創生、DXなども重要なテーマとなっています。
これらの社会的動きに対応し、緑地や水辺、生き物の生息場所などの自然的な環境と、景観や安全安心などの様々な環境を創り育てる「花とみどり」に取り組む企業として、環境経営を進めるため新たに「環境方針」を定めます。環境方針を事業活動に反映する事で、SDGsの達成に貢献します。

炭素中立（カーボンニュートラル）
私たちは、「花とみどり」の持つ多面的な効用を最大限活用するとともに、事業活動によるCO2排出量の削減を徹底することで、世界の2050年炭素中立目標に貢献します。

自然再興（ネイチャーポジティブ）
私たちは、生物多様性の損失を止め、回復させる行動を推進するとともに、そこから得られた自然の価値を様々な人と共有して、人と自然が共生する社会の実現に貢献します。

循環経済（サーキュラーエコノミー）
私たちは、「花とみどり」の空間をつくる資源である「水」「土」「木」を有効に利用するとともに、廃棄物の削減と適正な処理を徹底し、循環経済の実現に貢献します。

ウェルビーイング
私たちは、「花とみどり」が持つ心身を豊かにする力を引出すことにより、誰もがいきいきと暮らすことができるウェルビーイングな社会の実現に貢献します。

地方創生
私たちは、「花とみどり」を活かしたモノ・コトづくりを通じ、その土地の風土を的確に捉え、地域の人々とともに新たな価値を創造することで、持続可能な地域づくりに貢献します。

トップメッセージ

私たちは、異常気象、コロナ禍、外来種の問題など、新しい課題に直面しています。「花とみどり」の専門家として、これらの課題にいち早く対応し、公園や緑地の建設、維持管理、運営に取り組むことが重要であると考えています。私たちが今日まで行ってきたCSR活動や環境宣言、新たに策定する環境方針の根幹にあるのは、地球環境に対する良い事とは何かを考え、事業活動を通じて貢献していくことです。

環境に関する社会課題や求められる機能は、常に変化しています。私たちは地球環境とのバランスを考えながら、変化していく社会に対応する必要があります。地球環境を良くするためには、単にみどりを増やすだけではなく、地域の風土を深く理解し、積極的に新たな提案をしていくことが重要になります。そして、日比谷アメニスグループでは、公園や緑地の利用価値を総合的に向上させる取り組みを行っており、これらを通して社会のウェルビーイングに貢献するものと信じています。

環境方針を実現するには、社員一人ひとりが取り組むこと、そして私たちの事業に関係するすべての人たちに、私たちの取組みを理解してもらい共に進めることが重要です。まず私たち一人ひとりが環境に対する意識を高め、できることから始めていきましょう。
日比谷アメニスグループは、今後も環境に配慮した事業活動を継続し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

２０２３年　７月２６日
株式会社日比谷アメニス　代表取締役　伊藤幸男

環境方針の取組み

炭素中立（カーボンニュートラル）

日比谷アメニスグループは、すべての生物と共存をしていくため、気候変動対策に取り組みます。施工・維持管理・公園運営・事業所活動など、あらゆる面で省エネ・再エネ導入を進めてCO2排出量を削減するとともに、樹木のCO2吸収固定効果、木質バイオマスの利用や植栽土壌へのCO2貯留効果も活用します。
気候変動対策としてのみどりの役割を再認識した事業活動を行うことで、炭素中立に貢献します。

自然再興（ネイチャーポジティブ）

環境への影響を抑える従来型の環境保護へのアプローチでは、もはや生物多様性の損失を防ぐことはできません。そこで日比谷アメニスグループは、生物多様性の損失を止め、さらに回復させる行動を様々な事業分野で推進していきます。地域在来の植物の利用や雨水の再利用、生きものの生息地をつくり育てる活動、そしてそれらの活動から得られる自然の魅力・大切さを様々な人と共有する取り組みを通じて、人と自然が共生する社会の実現に貢献します。

循環経済（サーキュラーエコノミー）

日比谷アメニスグループは快適空間の創造を目指す企業として、樹木をはじめ花、水、土といった自然の素材を扱ってきました。これらの素材の調達から施工、維持管理というライフサイクルの各段階において、適切な管理計画の策定を行い資源の保全を図ります。また、企業活動の全般において廃棄物の削減と適正な処理を徹底し、環境負荷を低減させます。これらの取組を通して持続可能な社会と循環経済の実現に貢献します。

ウェルビーイング

誰もが「花とみどり」に癒された経験があると思います。しかし実際、私たちの心と身体にどのような豊かさをもたらしているのでしょうか。花とみどりの価値を、世の中へわかりやすく伝えていくことも、日比谷アメニスグループの大切な役割だと考えています。さらに、事業活動に関わる誰もが幸せに働くことができる環境を整えることで、花とみどりの持つ価値を引き出す空間を創造し、ウェルビーイングな社会の実現に貢献します。

地方創生

東京一極集中のリスクや弊害が指摘され、地方創生はわが国の重要な課題と言われています。日比谷アメニスグループは「花とみどり」の空間を創り、活かすという事業を通じ快適空間の創造を行ってきました。そのノウハウに基づき、みどりのフィールドを軸としてその土地の歴史・文化や風土の特色を的確に捉え、地域のステークホルダーとともに新たな賑わいや魅力を創出する取組みを行うことで、持続可能で豊かな地域づくりに貢献します。

取組みの体制

日比谷アメニスグループとして環境経営を推進するため、グループ各部門から構成される環境経営戦略委員会を設置し、基本方針や戦略、啓発活動などに関し、企画・立案・提言を行います。そして具体的に取り組むため環境経営目標と環境経営計画を策定します。
委員会における審議事項は、取締役会に付議・報告され事業活動に反映させます。
また協力業者、地域の方々、NPOや有識者などと広く連携協働し、目標や計画の達成を目指します。